ファイル軽量化ソリューション

NXPowerLite[™]

修復ツール使用に際しての注意事項および使用方法

Microsoft Office 97、2000、XP、2003、2007、2010を使用して、特定の手順で作成されたファイルに対して、NXPowerLite 製品の「画像のトリミングを許可」機能を有効にした状態で軽量化を実行すると、軽量化後のファイルが Microsoft Excel 上で「ファイルが読み込めません。」と表示され、ファイルが正常に開けなくなります。このマニュアルでは、破損したファイルを一括で修復する為の修復ツールを適用する際の注意事項および使用方法について解説します。

■ 注意事項

➤ 「C:\text{Pocuments and Settings}」など、ファイルパス内に空白が含まれている場合には、ダブルクォーテーションで囲んでください (例:「"C:\text{Pocuments and Settings"」など)

■ 動作を確認した OS

Microsoft Windows XP (32bit)、7 (32bit および 64bit)、Server 2003(32bit)、2008(32bit)、2008 R2

■ 適用対象ファイル

NXPowerLite デスクトップエディションバージョンおよび NXPowerLite ファイルサーバーエディションの バージョン 3.6 以上で軽量化された Excel ファイル

■ 使用方法

- 1. 以下の URL からプログラム (BatchRepairXLS.zip)をダウンロードします。 http://www.nxpowerlite.jp/exe/BatchRepairXLS.zip
- 2. ZIP ファイルを解凍して、「RepairXLS.exe」と「RepairXLSDir.exe」が同じディレクトリに保存されていることを確認します。
- 3. コマンドプロンプトを実行し、[cd]コマンドを使用して、手順2で解凍したファイルが含まれるフォルダーに移動します。

例: 修正ツールを「c:\feature repair」に保存した場合 コマンドプロンプト>cd c:\feature repair

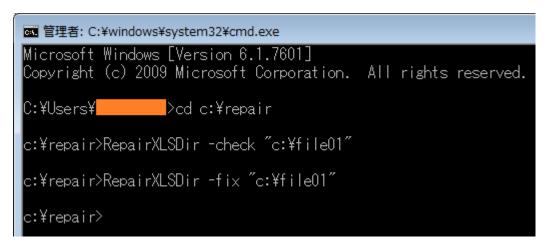
- 4. 以下のコマンドを実行します。
 - ※【オプションの説明】以下に記載されている設定を使用する場合のみ、コマンド上に[]内のオプションを記述します。

▼修正対象ファイルを確認する場合

RepairXLSDir -check [-l:フォルダー名] "修正対象フォルダー1" "修正対象フォルダー2" "修正対象フォルダー3"…

▼修正を実行する場合

RepairXLSDir -fix [-I:フォルダー名] "修正対象フォルダー1" "修正対象フォルダー2" "修正対象フォルダー3"…



【オプションの説明】

-check

指定したフォルダー内に修正対象のファイルが存在するかどうかの確認を行い、結果をログファイルに 出力します。

-fix

指定したフォルダー内に修正対象のファイルが存在するかどうかの確認を行った後、対象のファイルに対して修正処理をおこない、結果をログファイルに出力します。

記述例: RepairXLSDir -fix "C:\u00e4xlsfiles"

修正処理が行われた元ファイルは、ファイル名に「.bak」と末尾に追加されたバックアップファイルが作成されます。(例:「NXPowerLite 検証ファイル.xls.bak」※フォルダー内にすでに同じ名前のバックアップファイルが作成されていた場合、「NXPowerLite 検証ファイル.xls.bak001」と数字が追加されたバックアップファイルが作成されます)

[-I:フォルダー名]

ログファイルの出力先フォルダー名を指定します。指定しない場合は、「C:\text{C:\text{Neuxpower_J}}が自動で作成され、「YYYY-MM-DD-hh-mm-ss.log_J(MM の月は「May」など英語表記)のフォーマットでログファイルが出力されます(例:「2013-Jul-12-10-39-23.log_J)。

記述例: RepairXLSDir -I:C:¥logfiles "C:¥xlsfiles"

- 5. コマンド実行後は以下の処理が行われます。
 - 5-1. 指定されたディレクトリおよびそのディレクトリの直下内に存在する「.XLS」ファイルを検索。
 - 5-2. 破損ファイルを修正済みファイルで上書き。破損したファイル名の後ろに「bak」が付いたファイルを作成。
 - 5-3. 各対象ファイルに対して、以下のステータスが記述された実行結果をログで出力。

[ok] - 正常なファイル(修正処理を行う必要のないファイル)。

[fixable] - 修正対象のファイル。 ※-check オプション実行時に出力

[fixed] - 修正済みファイル(破損したファイルを修正済みファイルで上書きされたファイル)。 ※-fix オプション実行時に出力

[broken] - 修正ツールで正常に読み込めなかったファイル。

[container problem] - Microsoft Office の問題で破損しているファイル。

[bad arguments] - 無効なコマンドラインオプション。

[file not found] - ファイルが存在しませんでした。

[access denied] - アクセス権限がありません。

[sharing violation] - ファイルが開いています。

[not BIFF8 workbook] - Excel 97 より前のバージョンで作成されたファイルまたは XLS 形式ではないファイルです。

[temp copy failed] - 修正するために必要な一時ファイルを作成できなかったため、破損ファイルを修正できませんでした。

[copy back failed] - 修正済みのファイルで破損ファイルを上書きできなかったため、修正できませんでした。(ファイルへのアクセス権限がない可能性があります)

[backup failed] - バックアップファイルの作成失敗したため、修正できませんでした。

[unexpected] - 予期せぬエラーにより修正ツールが異常終了しました。

[scan err] - フォルダーの解析中にエラーが発生しました。フォルダーへの読み取り権限がない可能性があります。

[warning] - シンボリックリンク(フォルダーへのショートカット)は修正処理の対象ではないため、 スキップされました。

[password] - 軽量化済みファイルでパスワードが付いたファイル。

※ステータスが[fixed]以外は、ファイルに対して一切処理は行いません。

【使用例】

以下の「.xls」ファイルを含むディレクトリ「C:\u00a4xlsfiles」に処理を実行した場合

samplefile1.xls (破損ファイル)
samplefile2.xls (正常なファイル)
samplefile3.xls (現在アプリケーションで開いているファイル)

- 1. 「RepairXLSDir -fix C:\u00e4xlsfiles]実行
- 2. 以下の内容が記述されたログファイルが「C:*Neuxpower」へ作成

[fixed], C:\frac{1}{x}\lsfiles\frac{1}{s}\amplefile1.x\ls [ok], C:\frac{1}{x}\lsfiles\frac{1}{s}\amplefile2.x\ls [sharing violation], C:\frac{1}{x}\lsfiles\frac{1}{s}\amplefile3.x\ls [sharing violation]

3. 実行後の「C:\xlsfiles」ディレクトリ内の状態は以下

samplefile1.xls (修正済みファイルで上書きされたファイル)
samplefile1.xls.bak (修正前の破損ファイル)
samplefile2.xls (正常なファイル)
samplefile3.xls (アプリケーションで開いているファイル)
※「samplefile2.xls」と「samplefile3.xls」に対して処理は加えられません。

サポート

不明点や不具合などがございましたら、下記NXPowerLite FAQページをご参照ください。

URL: http://www.nxpowerlite.jp/support/

FAQをご覧になっても問題が解決しない場合や、その他詳細につきましては、以下のページのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

URL: http://www.nxpowerlite.jp/about/contact-us/

NXPowerLite 開発元

Neuxpower Solutions Ltd.

URL: http://www.neuxpower.com/



NXPowerLite 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

URL: http://www.oceanbridge.jp/

